

犬猫不妊去勢手術費補助金

問

- ①補助条件は。
- ②今後の事業継続は。
- ③市民への周知方法は。

答 (市民生活課)

①同一年度で1世帯当たり犬猫いづれか一頭のみ、2000円の補助を行う。
②この事業は、県が平成20年度から推進している事業で、市民から犬猫による、ふん尿や農作物等への被害の苦情等がある。よって、不必要な繁殖防止と周囲への迷惑を未然に防止する有効な施策であるため、今後も継続する予定である。
③広報紙・ホームページへの掲載及び伊予郡市の獣医師に対し、ポスターと申請書を配布し、周知徹底を行う。

産業建設委員会

クラフトの里案内看板改修工事

問

新しい看板は、腐食対策を考えているのか。

答 (商工観光課)

施設自体がクラフトの里ということで、木へのこだわりを持っており、今回も木造の看板で計画している。現在、13mの看板を大きな柱2本で対応しているが、今回は安全を考慮し、7m程度の看板に3本の柱を使い、強度を上げ、防腐剤を注入する。



改修前の案内看板

木造新築住宅建築支援事業費補助金

問

この事業の目的は。

答 (農業振興課)

県産材の流通、市内業者の育成・振興と、この事業を実施することにより、人口減少を防ぎ、県内産木材の消費拡大と若者の市内定住を促進する。

中山インターチェンジ設置検討支援業務委託

問

①設置に係る費用は、全額市の持ち出しか。

②インターチェンジを設置する効果は。

③供用開始は、いつ頃を想定しているのか。

答 (道路河川課)

①費用便益(※)(BバイC)が1・0をクリアするなど設置要件を満たし、

国土交通省から連結許可が出れば、高速道路の本線から料金所までの工事費については、原則、西

日本高速道路株式会社が国の制度を活用する。

本市が負担する経費は、アクセス道路の整備に限定される。

②地域の活性化と人口流出を防ぐという点もあるが、最大の効果は、災害時の避難路の確保である。平成17年に犬寄トンネルの手前が崩落した際、完全に中山地域が孤立したというところで、国道56号が寸断した場合の代替路としても活用できる。

また、トンネル内での交通事故等の対応の面からも、非常に効果が高いと考えている。

現在、伊予インターチェンジから内子五十崎インターチェンジまでの間が24kmと四国内でも最長の距離であり、インターチェンジ間距離の不均衡の是正等、多方面にわたり、

さまざまな効果がある。

③まだ国土交通省、西日本高速道路株式会社からの許可は出ていないが、もし本年度、連結許可の申請まで完了した場合には、最短で供用開始は、平成29年度あたりになると考えている。

(※)費用便益とは

事業の実施に要する費用に対し、社会的に得られる便益(旅客・貨物の移動時間の短縮、事故・災害の減少による人的・物的損失の減少、環境の質の改善等)の大きさ。



インターチェンジと国道との接続予定箇所